

キャラクター名 プレイヤー名

メインクラス	パラディン	Lv.1:	アコライト	レベル	11
サポートクラス	フォーキャスター	Lv.1:	フォーキャスター	性別	女性型
称号クラス				年齢	製造年不明
種族	エクスマキナ			境遇	放浪者
出自 (効果)	放浪者			目標	命令

	筋力	器用	敏捷	知力	感知	精神	幸運
基本値	21	9	6	9	8	28	17
ボーナス	7	3	2	3	2	9	5
クラス修正	1	1	2	1	1	2	0
他修正						2	1
能力値	8	4	4	4	3	13	6

HP	98
MP	126
フェイト	5

装備品		射程	命中	攻撃	回避	物防	魔防	行動	移動
右手	S1軍略家の指揮棒	至近	-1	3					
左手	Command: Shield; (マインドガードブリアーシールド)	-				13		-1	
頭部	S1軍略家の三角帽子	/				2	1		
胴部	S3ブリガンダイン	/				9			-1
補助	軍略家の指輪	/				2	3		
装身具	高位聖印	/							
能力値			4	0	4	0	13	7	13
スキル									
その他									
総計(右)			3	3					
総計(左)			4	0	4	26	17	6	12
総計(両)									m
ダイス数			2 d	2 d	2 d				

	能力値	スキル	その他	合計	ダイス数
トラップ探知	3			3	+ 2 d
トラップ解除	4			4	+ 2 d
危険感知	3			3	+ 2 d
エネミー識別	4			4	+ 3 d
アイテム鑑定	4			4	+ 3 d
魔術判定	4			4	+ 3 d
呪歌判定					+ d
錬金術判定					+ d

所持品	
冒険者セット	
精神のクリスタル	
幸運のクリスタル	
侍祭のクリスタル	
防塁のクリスタル	
飛行のクリスタル	

現在重量: 5
 最大重量: 21
 所持金: 100228
 預金・借金:

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
チューニング	★	-	パッシヴ	-	自身	-		
効果: 能力基本値をふたつ選択し、キャラクター作成時に、選択した能力基本値の片方に+4し、もう片方に-1								
プロテクション	5	2	DR直後	20m	単体	自動成功	1/MP	
効果: DR直後。対象が受ける予定のDmg-[SL]D。								
ヒール	1	3	メジャー	20m	単体	魔術	-	
効果: メジャー。対象にHP回復。対象の【HP】を[3D6+CL*3]点回復。クリ:DR増加。								
タクティカルプレイ	10	2	セット	20m	単体	魔術	-	
効果: セットアップ。対象にDmg増加。攻撃のDmg+[SL*4]。R間持続。自身は行動済となる。クリ:コスト0。								
ポジショナルプレイ	10	2	セット	20m	単体	魔術	-	
効果: セットアップ。対象の【物防】と【魔防】+[SL*4]。R間持続。自身は行動済となる。クリ:コスト0。								
スペシャルコマンド	1	3	セット	-	自身	自動	1/セット	
効果: セットアップ。フォキャストのセットアップスキルをふたつ使用できる。								
ストラテジウム	1	3	効果参照	-	自身	自動	-	
効果: 魔術判定を行う対象単体のフォキャストスキルと同時使用。範囲選択化。								
グランドマスター	1	-	パッシヴ	-	自身	-	-	
効果: パッシヴ。フォキャストスキルコスト-2。最低1。(反映済)								
アウトプレイ	1	-	パッシヴ	-	自身	-	-	
効果: パッシヴ。《タクティカルプレイ》と《ポジショナルプレイ》のSL上限を10にする。								
クイックヒール	1	4	イニシ	-	自身	自動	1/シーン	
効果: イニシアチブ。《ヒール》を同時使用。								
ワイドプロテクション	1	4	《プロテクション》	-	自身	自動	-	
効果: 《プロテクション》と同時使用。範囲選択化。								
アフエクション	1	-	DR直後	20m	単体	自動	1/シ	
効果: DR直後。Dmg0に変更。								
キャストリング	1	-	DR直前	20m	単体	自動	SL/シーン	
効果:DR直前。《カバリング》を取得していなくても即座に《カバリング》を使用できる。対象はコスト (【MP】2点)を支払う。自身を対象にできない。MP間持続。								
インサイト	1	-	パッシヴ	-	自身	-	-	
効果: パッシヴ。嘘やはったりを見抜く【精神】判定+1D。								
マスターマインド I	1	F1	メジャー	-	自身	自動	1/シ	
効果: メジャー。所持金が【精神】*100G増える。GMは使用を却下できる。								

一般に、『人間の姿のエクスマキナは、基本的にエクスマキナと見分けることは難しい。もし、プレイヤーが見極めたいと思う場合、疑う理由が十分であるとGMが判断した時に限り、【感知】判定で対決してよい。』とされる。(※PWG P.161)
 しかし、HALをエクスマキナであると判断するのは容易である。外見以外の情報から「なんだエクスマキナか」と分かるからだ。

帝紀100年ごろ、聖暦("火の時代"が始まった時が元年)300年ごろ、ある一人のマッドサイエンティストによって製造された。

当時はエクスマキナの開発技術は未発達で、恐らくフォーキャスターの起りより前である。(フォーキャスターの祖である「デインメル・アンプロジウス」(PSG, P324)についての記述がPWGにない。)そのため、HALはいわゆる『オーバーパーツ』にあたる。

今でこそ人と見分けが付かないほどの外見のエクスマキナは珍しいものではないが、当時としては明らかな異常である。そもそも、エクスマキナ自体が存在していたか怪しい。(歴史にはエクスマキナの製造開始がいつであるか明記されていない)

HALは金属製ではなく、体中のあらゆる部位が「人間」(ヒューリン)と同じような触感の物質で構成されている。そのため、触ってもべつに硬くはない。(頭部を触るとそこそこ硬い。)
 そこまで拘って作られていて、『セクソイド』としての機能が搭載されていないのは『解釈違い』だったからか、製造者に相手がいたのか、はたまた。胸部装甲が平たいのは絶対開発者の趣味である。だってPLの私がそういう趣味だもん。だからそうなんだもん。

いわゆる『メイドロボ』みたいなものとして造ったのではないかと推測されるが、そこに軍師としての機能が搭載されている理由は謎である。まさに『マッドサイエンティストの所業』としか言いようがない。たぶんつくったひとそこまでかंगाえてないとおもうよ。

